46,,851

|  |  |
| --- | --- |
| 募金会計 | 活動費会計 |
| 収入 | 収入 |
| 一般会費 | 活動費寄付 37,500 |
| 賛助会費　　 597,000 | バザー売上 46,200 |
| 助成金 0 | ツアー残金 23,250 |
| 普通利息 83 | 雑収入 3,599 |
| 雑収入 0 | 小計 110,549 |
|  | 支出 |
| 小計 597,083 | 活動費　　　　　　　 35,455 |
| 支出 | 印刷費 8,017 |
| 支援金 0 | 文具資料費 399 |
| 送金手数料 0 | 通信費 52,670 |
| 小計 0 | 小計 96,541 |
| 前期繰越金　 850,292 | 前期繰越金 1,299 |
| 当期収支 597,083 | 当期収支 14,008 |
| 次期繰越金 1,447,375 | 次期繰越金 15,307 |



◆ジャパベトナムと私……….......................................1

◆つらつらとひとり言.....................................................３

◆ベトナム原発建設予定地を訪問.............................４◆現地からの手紙 ベトナム カマウから................5

**●一般会費　　年間１口（2000円）以上**

**●賛助会費　　金額・時期ともご自由に**

**●活動費寄付　活動費の支援（金額自由）**

どれになさるかはご自由にお選びください。

ご都合に応じてご送金いただければ幸いです。

会費をお振込みいただいた方には、振込の半券で領収書とさせていただいております。領収書が必要な方は、振込用紙の通信欄の「□領収書必要」の□にチェックを入れてください。

事務費削減にご協力いただけると幸いです。

【ご送金は郵便振替で】

00100 - 8 - 118761

JAPA VIETNAM

◆

【銀行をご利用の場合は】

三菱東京UFJ銀行 四谷三丁目支店

東京女子医大出張所

普通預金　3544236

JAPA VIETNAM代表 安藤勇

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 －１－　 【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】

ジャパ・ベトナムと私

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　Ｈｏａｎｇ　Ｈｏ　Ｐｈｕｏｎｇ　Ｔｈａｏ

日本での留学生生活を終えて、帰国するきっかけで私にお礼を申し上げる機会を与えていただくことに感謝します。

ジャパ･ベトナムに出会ったのは2年前のことでした。短い時間でスタッフとしてたくさん貢献できなかったですが、たくさん勉強することができました。安藤さんをはじめ、柴田さん、篠崎さん、そして他の皆様からベトナムに対する思いや熱意、誠意に感動します。

学業が忙しく、ミーティングや翻訳の手伝いをよく参加することができないですが、参加するたびに母国に対する思いが強くなってきます。それは、ジャパ･ベトナム･スタッフの思いが私に伝わってきたからではないか思っています。帰国するからこそ、ベトナムのあっちこっちで私の力や学んできた知識がベトナム人に必要であることが再認識できるようになりました。

◆◆◆会計報告◆◆◆

（201１年９月１1日～201２年４月４日）

**＜会計の説明＞**

* 募金について、今まで一般会費（年１口２千円以上）、賛助会費（金額・時期とも自由）、寄付金の３つに分けていましたが、今後は一般会費と賛助会費の２本立てとします。
* 2011年ツアー参加費の残金の１部を、参加者の了承を得て活動費に繰り入れました。

NO.43 　　　　　　　　　 　発行者：ジャパ・ベトナム事務局　発行日：2012年4月21日

J　A　P　A　 V　I　E　T　N　A　M　　会　報

【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】　　　 －10－

ジャパ・ベトナム

（日本ベトナム民間支援グループ）

**JAPA VIETNAM**

(JApanese group of Private Assistance to VIETNAM)

〒102-0083 東京都千代田区麹町6－5－1

岐部ホール4階

イエズス会社会司牧センター内

◆

電話 03-5215-1844

FAX 03-5215-1845

◆

e-mail:chao@japa-vietnam.org

http://www.japa-vietnam.org/

＊アドレスが変更になりました

ベトナムの未来にあなたの力を

JAPA VIETNAMをご支援ください

紙名『チャオ・ベトナム』について

「チャオ」（**chào**）とはベトナム語で「こんにちは」という意味です。『チャオ・ベトナム』というタイトルには、ベトナムの人たちと友情のネットワークを築いていきたい―という、私たちの願いがこめられています。

JAPA VIETNAMにご支援いただくには、以下の三つの方法があります。

◆柴田さんの思い出….................................................6

◆2012年度ジャパ・ベトナム支援先.................7

◆..2012年ベトナムツアー参加者募集.............8



カオバン省立病院での一枚

ツアーに参加することで、私は母国のことを再び勉強させていただきました。安藤さんや柴田さん、篠崎さんが持っているベトナムに関する知識は私自身より豊富で驚きました。そして、ベトナムの遠く行きづらいところまで毎年訪れることに頭が下がります。20代の私たち（私と他のベトナム人）も大変だと思っていますが、皆様は苦労だと表さずに毎年訪れて、視察しました。

二年間、本当にお世話になりました。ありがとうございます。今後とも、ベトナムから違った形で応援したいと思っております。ジャパ･ベトナムのますますのご成功をお祈り申し上げます。そして、安藤さん、篠崎さん、他のスタッフの皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

ジャパ･ベトナムの支援はベトナム人でも行ったことなく、名前さえ聞いたことないところで支援していただいています。中国の国境と近いカオ・バンという地域から一番南の地域のカ・マウまで支援します。そして、一番素晴らしいのは支援し続けるところです。カオ・バン

という地域では２0年間を支援し続けました。たくさんの人々の人生を変えることは間違いないです。

そして、ジャパ･ベトナムのミーティングに参加するたびに二つの思いが常に持っています。第一は、ジャパ･ベトナムの平均年齢が高いです（失礼のかな～）。のんびり人生を楽しむ年齢ですが、皆様は逞しくいろんなことをこなすことは本当に尊敬しますが、よりたくさん若者が集まればもっと良いですね。多分、スタッフの皆様もそう考えていると思います。

第二は、２0年間、ベトナムの貧しい人々を支援し続けることでスタッフの方々はベトナムのことをよく知ることは言うまでもないですが、やはりベトナム人だからこそ外国人が知らないところはあるはずです。今後も、たくさんのベトナム人がジャパ･ベトナムを知り、ベトナム人の立場でジャパ･ベトナムを支援することでより効率に活動できるではないか思っています。今後、たくさんのベトナム人がジャパ･ベトナムのスタッフとして支援するとジャパ・ベトナムの支援が必要とする多くのベトナム人の人生が変えるかもしれないです。

最後になりますが、2009年8月のベトナム･ツアーに参加することは私の人生の忘れられない思い出の一つになりました。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　 －９－　　　【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】

このたびホームページをリニューアルしました。旧サイトの契約更新によるもので、昨年春から考案され、ようやくの実現。「ホームページってどうやってつくるの！？」「ヘッダーってなに！？」から始まり、「なるべくスッキリわかりやすくしたい」「明るい雰囲気にしよう」などなど何度も話しあい、やっとのUPです。新しくなったホームページには、ミーティングの日程やスタッフだよりのページもつくりました。是非お立ち寄りくださいね。

**http://www.japa-vietnam.org/**

私たちド素人集団に根気よくお付き合いいただき、作成に多大なるお力をくださったイリアントさん、心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

◆ホームページをリニューアルしました◆

服部　栄子　　　　　　豊島区

原　章子　　　　　　世田谷区

原　悌二郎　　　　　世田谷区

匿名　　　　　　　　　大田区

福井　武　　　　　　　市川市

藤井　訓子　　　　　　大竹市

松永　弘之　　　　　　品川区

マリアの御心会　友の家

荒川区

圓山　節子　　　　　　葛飾区

村井　富美子　　　　世田谷区

本山　京子　　　　　　広島市

守口　恵子　　　　　小金井市

森村　信子　　　　　　渋谷区

森山　昌樹　　　　　　豊島区

箭島　多美子　　　　　広島市

山形　辰史　　　　　　新宿区

山本　喜代子　　　　　練馬区

渡辺　典子　　　　　羽曳野市

　　　　　　　（以上60名）

佐藤　みどり　　　　　練馬区

佐竹　道子　　　　　　茅野市

柴田　しのぶ　　　　習志野市

澁谷　節子　　　　　　足立区

嶋田　弘志　　　　　　町田市

島村　晶子　　　　　　三鷹市

末吉　偕子　　　　　　清瀬市

隅野　美江

聖母訪問会モンタナ第二修道院

　　　　　　　　　　　鎌倉市

武市　英雄　　　　　相模原市

武内　清子　　　　　　横浜市

竹本　潤也　　　　　　小平市

多勢　三枝子　　　　　練馬区

田山　ジェシィ　　　　足立区

戸田　恵子　　　　　　広島市

戸村　信子　　　　　　長崎市

中島　淑子　　　　　　町田市

中嶋　俊之　　　　　江戸川区

西山　正子　　　　　　足立区

根岸　寿　　　　　　　神戸市

長谷川　春子　　　　安曇野市

青沼　酉子　　　　　　品川区

芦田　敦子　　　　　　西宮市

飯田　幸子　　　　　　足立区

イエズス会大船修道院　鎌倉市

イエズス会社会司牧センター

　　　　　　　　　　千代田区

井手　公平　　　　　北九州市

岩田　瑞枝　　　　　　川崎市

Elza Mori Aiko

援助修道会　　　　　　新宿区

大泉　廣　　　　　　江戸川区

大高　ひろみ　　　　　函館市

幼きイエス会　　　　千代田区

柿坂　玲子　　　　　　豊島区

柏村　忠志　　　　　　土浦市

加藤　隆子　　　　　　逗子市

祇園カトリック教会　　広島市

岸　秀雄　　　　　　　鎌倉市

木野　友義　　　　　　岡山市

小池　美恵子　　　　国分寺市

駒込　直美　　　　　　京都市

佐藤　政信　　　　　　草加市

【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】　　 　－２－

201１年９月１１日～２0１２年４月４日までの会費・寄付納入者のお名前です（敬称略）



【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】　 －８－

ジャパ・ベトナムでは年１回ツアーを企画し、支援先のすべてを訪問しています。その目的は、支援先の人々と直接顔を合わすこと、支援金がきちんと使われているか確認すること、支援先のグループや地域の状況を把握すること、新たなニーズを発見することの４つです。ジャパ・ベトナムに関わる多くの方々や、ベトナムに関心を持つ方々に、できるだけ参加していただけたらと考えています。去年までは、北から南まで通して３週間のツアーを組んでいましたが、今年は北コースと南コースの２つに分け、ホーチミン市のプログラムは両コースが参加できるツアーを組みました。部分参加もできます。ご関心ある方は、是非参加してみませんか！

＜日程＞

・北コース・南コースとも　7月26日（木）～8月6日（月）全12日間

・南コースの帰国は深夜便なので成田到着は翌朝になります。

・日程は変更することがあります。

＜訪問地＞

・北コース：ハノイ市、カオバン省、ゲアン省、ホーチミン市

・南コース：ソックチャン省・カマウ省、ビントゥアン省、ビンフック省、ホーチミン市

＜費用＞

・滞在費7万円＋航空券（北コース95,000円、南コース62,000円）

・部分参加は日割りで計算します。

＜定員＞

・各コース５名（定員になり次第〆切ります）

・出発前に説明会に参加していただきます。

・帰国後、報告会で発表したり、会報に原稿を書いていただくことがあります。

＜申し込み・問い合わせ＞

・申込書をご請求いただければ、郵送・Fax・E-mailでお送りしますので、必要事項に

記入して事務局までご返送ください。

・ジャパ・ベトナム事務局（担当：安藤勇）

〒102-0083　東京都千代田区麹町6-5-1岐部ホール4階　イエズス会社会司牧セ

ンター内

Tel:03-5215-1844　Fax:03-5215-1845　　E-mail:chao@japa-vietnam.org

・5月15日（火）までにお申し込みください。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 －３－　　 【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】

はるか昔のことだ。片田舎の高校生活に勤しんでいたある日の昼休み、自分の席から少し離れたK君から声がかかった。「大高ｮ～！ これから俺達はこんな事にも関心を持たねばならんぞ！ 読んでみな！」と、机の上にどんと置かれた新聞を指し出された。目をやると、ベトナム戦争一色の記事が生々しい写真と共に、一面、二面、いや数面に渡って紙面を埋め尽くしていた。テレビが入って間もない頃でニュースでそれとなくどこかで戦争が起こってるなぐらいの無関心状態だったのだが、その新聞を読んでショックを受けた記憶がある。声の主、K君は新聞部員で、生徒会新聞に度々ベトナムに関する記事や、日本、アメリカ、ソ連の立場などを載せ、その政治臭のある内容が校長の目に留まり、再三の忠告を無視して、停学、いや退学勧告寸前まで追い込まれたらしい。学業の身でありながら、はずれた活動にうつつを抜かすなど本末転倒、自身の校長職としての指導力量を疑われる、とでも思っていたのだろうか？ 今でも心に残っている出来事である。とともに、逆にノホホンとした毎日ではいかんぞ！という敵対意識の様な何かが芽生えた気分にさせられたように思う。

　若き20代の頃は、職場の労働組合活動の中で一連の行動提起の中に常時、ベトナム戦争反対の行動日程が要請され、集会、デモに連日参加し、国民の大多数が関心を持ち動いていた時代だった。声を出して外に訴えるたくましい活力があった。今は物言わぬ日本人になっていないだろうか？

　時の流れは早く、永きに渡って今も続けている音楽活動…。5年前「ジャパ・ベトナム」の総会＆音楽会のステージに立つ事になり、何度か重ねている内に、20年続いている直接支援活

動であるベトナムツアーに参加する事に…。

鮮明に記憶に残っている初めて訪れた時の光景。とにかく暑くて暑くて…！ 常にうちわ持参で動いていた。街は賑わい、道幅満杯で走行するバイクの洪水、どこから来てどこへ行くのだろう！ 昼夜、関係なく騒音、けたたましさに溢れていた。喧噪？活気？ともとれる市街地だが遠く郊外に入ると、のんびりした日本の田園地帯と変わらぬ風景にホッと一安心！

　早朝、カオバンまで8時間かけてのバス移動も忘れられない。砂利道、デコボコ道で右、左に揺れながらスリル満点の恐怖感も味わった。今後、道路も見違える程、綺麗に舗装されるだろうな！

　病院見学で以前支援した医療器具等の紹介を受けたり医療現場を回り、そこで働く人達との交流の場があったりでこれ以上ない程の丁重なもてなしを受け、心地よい時間を頂いた。そうそう！ もてなしといえば、あの数々の高級料理はまるでVIP扱いで我々には（いや私には）そぐわない。普通の小市民であるだけに身分不相応である。改善申し立ての要あり！

　病院、道路、橋、井戸、エイズ患者、貧しい人達等、多方面に直接支援を拡げ、続けているジャパ・ベトナムの活動に心から敬意を表します。

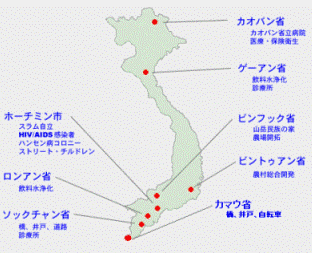
　日本に留学するベトナム人は3000人を超え、在住ベトナム人は40000人を超えるとか。若いベトナム人と会う機会が多いけど、皆さん優しく素直…。そして優秀な逸材。発展途上といわれて久しい今のベトナムをどんな国にしたいのだろうか？ 能力をいかんなく発揮し、より豊かな、安心して住める国造りを！

　すくなくとも、原発、放射能汚染で苦しむ日本のような国にはしないでネ！

ジャパ・ベトナム 2012年ベトナムツアー 参加者募集

つらつらとひとり言

大高　幸雄



2012年度ジャパ・ベトナム支援先

　2012年１月から3月までのスタッフミーティングで慎重に検討した結果、2012年度の支援先が決まりました。申請額は13件、33,920ドルでした。支援額は、10件、25,800ドル（80円／1ドル換算で、2,064,000円です。支援先は次の通りです。

* カオバン省／保健研修コース２／2,500ドル

２つの県の医療スタッフへの研修コースのための費用。今年は医療器具への支援は見合わせました。

* ゲアン省／診療所中庭整備／3,000ドル

待合所横にある中庭は蚊が発生したり不衛生なので、整備するための費用。

* ビンフック省／山岳民族の家／3,000ドル

へんぴな地域に暮らすスティン族の数人が住む家の改築費用。

* H.C.M.市／エイズプログラム／3,000ドル

スラムに住むHIV感染者、患者が自立していけるよう手助けをするプログラム。

* H.C.M.市／タオダン・ストリートチルドレンプログラム／3,000ドル

220人の子どもを9人のスタッフが世話しています。入学するための証明書取得や進級などを助けています。

* H.C.M.市／ティエンボングループ・エイズ患者の診療／3,000ドル

厳しい状況を考慮し、額を増やしました。

* H.C.M.市／スマイルグループ・HIVの子どもと家族の教育／1,000ドル

他からの支援もありそうですが、プログラムの内容を評価しました。

* ソックチャン省／ダイハイ・道路／1,300ドル

　　墓地の中を横切らなければ道路に出られない数家族が、迂回できる道を整備する費用。

* ソックチャン省／バックハイ・養（豚、鶏、アヒル）／3,000ドル

貧しい20家族が自立していけるよう、豚又は鶏、またはアヒルを飼育するための費用。

* カマウ省／ラックケオ・橋／3,000ドル

渡し船代がないため通学を放棄する貧しい子どもが、通学を続けられるために橋を架ける費用。

今年度は、国際福祉協会と高野道郎メモ

リアルジャパナムプロジェクトより助成

をいただけるという連絡がありました。

スタッフ一同、心より感謝致します。

東日本大震災や不況の影響で、募金も年

々厳しい状況になってきています。貴重

な募金が、ベトナムのより助けを必要と

している人々に届けられるよう、今後も

気持ちを引き締めて活動を続けていこう

と思います。

【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】　　　－４－

ベトナム原発建設予定地を訪問

小野　浩美

設途中の学校は工事が中止になったこと、海岸の方に事務所をいくつか建設中であること、今後日本人（原発関係者）が現地を視察に来ることなど話してくれました。きちんとした制服に着替え帽子をかぶって出直してくると、海岸へ行く道を教えてくれました。村の中では殆ど人に出会わず、どんな目に見られているかわからないので、村人には話を聞きませんでした。帰りにチャンパの遺跡を見学し、それから帰路につきました。

ホーチミン市では、通訳の人などに原発建設についての意見を聞いてみましたが、ほとんどが「反対だが、政府のやることには逆らえない」という答えでした。原発問題に限ったことではありませんが、日本の場合と違う政府に対する独特の距離のとり方を感じます。このまま建設が進められ、美しい海や村の生活が変わってしまうと思うといたたまれない気持ちになります。

福島で原発事故があった後も、日本政府は原発輸出を続けると表明し、2011年12月9日に原子力協定は国会で可決承認されてしまいました。稼働中の廃棄物処理、事故後の汚染処理、廃炉技術など何一つ具体的解決策を持てていない欠陥有害商品を外国に売ろうなんて、こんな無責任な話はありません。狭い国土で多くの人口を抱えるベトナムで事故が起これば、福島と同じように人々が苦しむのは火を見るより明らかです。

ベトナムは経済成長し、日本で生活する私達と共通に話ができる問題を沢山抱えるようになってきています。お互いに情報を出し合い、それぞれが自分の国や相手の国について考えていけるようになれたらと思います。ジャパ・ベトナムのツアーに参加したこともある村田さんが、原子力資料室が作成した福島原発事故の解説をベトナム語訳したものを送ってくれました。多くのベトナム人がこれを読んで考えていけるよう、手渡したいと思います。

やや古い話ですが、昨年8月ジャパ・ベトナムツアー参加中に、個人的に日本の受注でつくられる第2原子力発電所の予定地を訪問しました。この目で1度立地予定地見ておきたいと考えたからです。もう１人の参加者と通訳の３人で、H.C.M.市から車をチャーターしファンランに向かいました。ビントゥアン省ファンティエットまではツアーでよく通った道ですが、その先を車で行くのは全く初めてで、どんなところか胸がわくわくしました。

ファンティエットを過ぎ、1時間半ぐらい走ったところで、右手に風力発電の風車が何台か立っているのが目に入りました。ベトナムで見たのは初めてで、あっと思い車をとめ、道路端でヤギを飼っている家族に話を聞きました。そのあとカーナビーチなど観光地を過ぎ、ファンランより手前にあるロシアが受注した第1原発予定地も見てみたかったのですが、日が暮れる中探し当てることができませんでした。このあたりはチャム族の居住地で、道が行き止まりになったところにチャム族の家族が住んでいたり、頭にターバンを巻きカゴをのせた人達が寺院へ向かって歩いていく姿が見られたりしました。

　ファンラン近くのホテルに1泊し、翌朝7時半頃出発して、第2原発予定地があるタイアン村を目指しました。右側には美しい海岸が続き、左側はおもしろい形の岩山が見られ、ニンニク畑、ブドウ畑、塩田、ひもの干し場などが沿道に続いていました。途中道に迷いながら、1時間半ほどでタイアン村に着きました。道を進んで行くと原発建設の見取り図が書かれた大きな看板があり、そばの事務所らしき建物からシャツ姿の男性が出てきました。彼はここの管理人だそうで、日本から来たと話すとにこやかに対応してくれました。別の村に住んでいたが会社と契約し、ここに派遣され住むことになったこと、この集落は山の方に移転する予定だがまだはっきり決まったわけではないこと、事務所の裏にある建

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 －７－　　 【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】



チャオ・ベトナム前会報42号の発行に当たり、余りにも緊急な出来事のために、柴田さんが亡くなられた悲しいニュースだけしか載せることができませんでした。柴田さんが昨年8月24日に亡くなられ、翌日ご家族とともに自宅に近い教会において、追悼ミサが行われました。 ところが時間が間に合わなくて、故人の友達や知り合いに連絡が十分とれなかったので、改めて、イエズス会社会司牧センターの主催で同じ敷地内にあるイグナチオ教会で、１１月２６日に特別な追悼ミサを行いました。

実は、昨年のベトナム訪問から帰った後、同職場であった「社会司牧センター」に本人の姿が見えませんでした。心配して自宅と打ち合わせしたところ、柴田さんは入院をしていたことが分かり、直接に本人と電話連絡を取ることができました。入院先の電話口に出た柴田さんは元気そうな声でしたので、少し安心しました。そして、本人との打ち合わせの上、その週末にジャパ・ベトナムスタッフ

の数人と一緒にお見舞いに行くことになりました。しかし、残念ながら、もう間にあいませんでした。翌日、柴田さんの奥さんからの緊急電話で本人が帰天したと言う知らせがありました。

柴田さんは27年間以上社会司牧センターで勤め、早くからベトナムに高い関心を示して、長年間ジャパ・ベトナムスタッフの中心メンバーになりました。そして、毎年ベトナムツアーに加わり、熱心にジャパ・ベトナムのプロジェクトを現地でチェックしたり、日本国内の色々なネットワークを充実させたりしました。彼の 最後のベトナム訪問は2010年８月のツアーの時でした。出発をする前、病院で誤診を受けたままベトナムを訪れた柴田さんには辛い旅でした。

柴田さんの生き方、仕事やベトナムに関する関わり方などは本人と付き合った多くの人たちの心にきっと強く残っている印象だと思います。柴田さん、ありがとうございました。天国から私たちをお守りください。

【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】　　　－５－

現地からの手紙　ベトナム・カマウより

ダット神父　　　　　　　 　　　グエン ティ トゥ ホアイ

Top of Form

ジャパ・ベトナムの皆様

私はグエン　ティ　トゥ　ホアイと申します。現在17歳の高校3年生です。

私の生活についてお手紙を書かせていただけて、とてもうれしいです。

私の両親は7年前に離婚しました。母は幼い2人の兄弟を連れてトゥドゥックの工場へ出稼ぎに行きました。私はグエン　タン　ダット神父に連れられて教会に住み、そこから学校へ通ってます。今年学校を卒業できるように一生懸命勉強しています。

昼は学校へ、夜は塾に通ってます。友達もほとんど似たような生活を送っています

将来大学へ行きたいですが、1年間大学で学ぶには1500万ドンかかります。

私は学費を払えないので、奨学金がないと大学へいけません。恩人が現れてくださるように神様へ祈るしかありません。四旬節中に一生懸命教会に通い、神様にいのります。

最後に皆様によりよい聖なる四旬節を過ごすことができることを願っています。

そしてより多くの貧しい人を助けることが出来ますように。さようなら。

ジャパ・ベトナム及び恩人の方々へ

長い間、貴会及び恩人の方々はカマウの人々に切実な利益をもたらす多くのプロジェクトを実施してくださいました。

その中にはきれいな水の井戸、農村における橋、貧しい学生のための奨学金のプロジェクトがありました。

都会から離れており、川が多く存在する地区の農村の子供たちには、多くの困難があります。以前通学には小舟などが必要でしたが、架けられた橋のおかげで泳いで通学することや小舟が必要なくなり、彼らは時間通りに学校に行くことが可能となりました。

また、海に近いため、生活用水が塩分を多く含む水となってしまい、清い水の井戸が生活に欠かせません。さらに、多くの貧しい子供が学費や文房具など勉強に必要なものや、洋服代・通学費などが払えず、学校を中退する子供たちが多くいます。

ジャパ・ベトナムは、我々にとって偉大なる恩人です。

ジャパ・ベトナムのおかげで、農村全体がよくなり、より文明的になってきて、さらに人情も生まれました。

ジャパ・ベトナムのご恩を心に刻みます。あなた方は、四旬節の精神に沿って祈り、貧しい人々に施しをしていらっしゃいます。

貴会及び恩人の方々へ感謝を申し上げます。

この四旬節の間に、神様が皆さま方の上に多くの恵みを与えてくださいますように。

2012年2月28日

柴田さんの思い出

安藤　勇

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 －６－　　 【チャオ・ベトナム43号／2012.4.21】